フィールドの「見える自動化」は i WEBCON で！

貴方の「何が、どうなったら、どうさせる」を容易に実現出来ます。

i WEBCON は専用アプリ不要！ PC, タブレット、スマートフォン搭載のブラウザで計測・設定・自動制御を御提供

Ver.240424

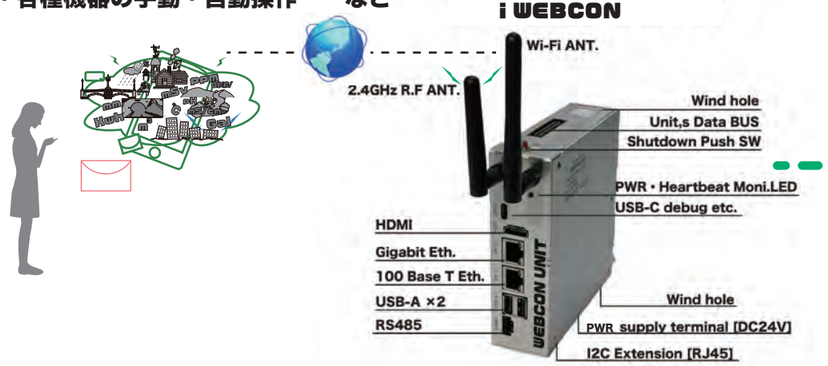
https://iot-tech-lab.wraptas.site/

ブラウザで各種値の表示、各値の上限・下限閾値設定、異常監視、保守、異常はメールで通知します。

- 各種シーケンス制御、既設シーケンサに接続し「見える自動化」

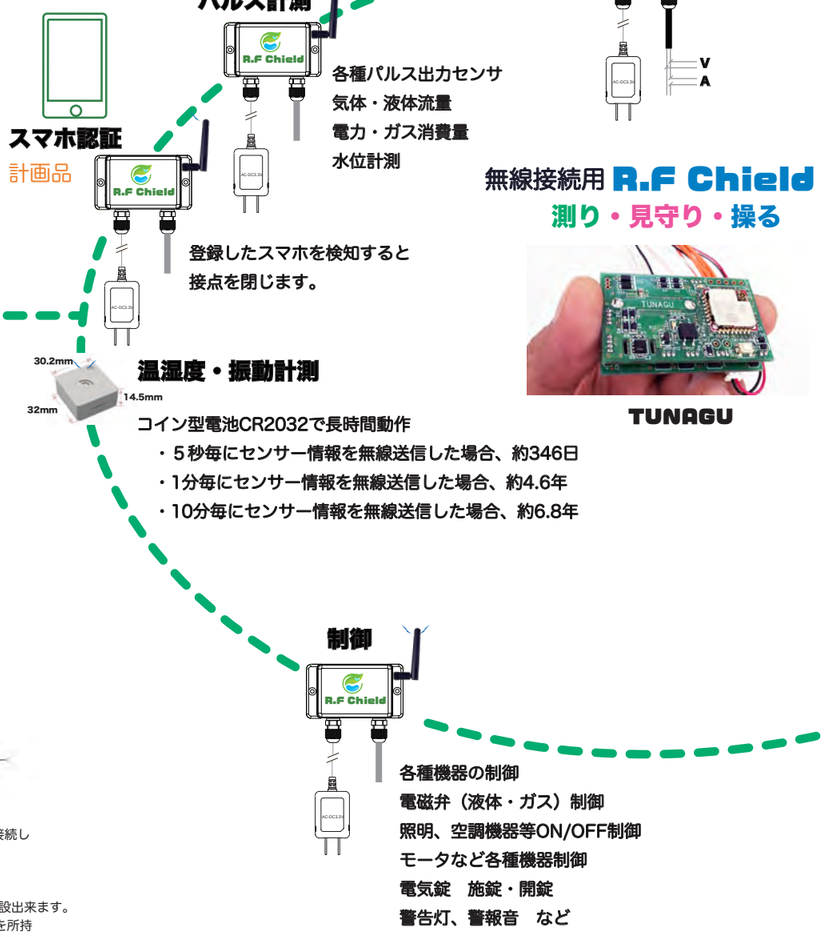
例：

- カーボンニュートラル貢献のため電力消費を環境により自動調整（エアコン・照明自動操作など）
- CO2 濃度でヒトの滞在人数の把握と設定閾値超えで自動換気、照明制御
- 電力・ガス消費量の計測により排出 CO2 量の換算
- 人感、ガス漏れ、火災センサの作動、各種計測値の異常をメール通知
- 各種機器の手動・自動操作　　など



有線接続用 **UNIT**

2.4GHz特定小電力無線



SENSOR UNIT

“測り”

- **i WEBCON** と Unit 間データバスで接続し豊富なセンサーを接続出来ます。
- I2C を最大約 30m 延長できる端子を所持

i WEBCON と離れた場所に設置できます。
Atlas-Scientific 提供の豊富なセンサ等の接続が出来ます

温度、電気伝導率 (EC)、pH、酸化還元電位 (ORP)、溶存酸素 (DO)、電気伝導率 (EC)、流量 (Flow)、酸素 (Oxygen)、二酸化炭素 (CO2)、温度（ temperature）湿度（Humidity)、圧力 (Pressure)、Color (RGB)　など

INPUT UNIT

“見守り”

i WEBCON と Unit 間データバスで接続し各種入力情報を収集します。

- デジタル入力端子 ×16ch(Raspi CM4 GPIO)
- 4～20mA 入力端子 ×1ch
- 0～10V 入力端子 ×1ch

OUTPUT UNIT

” 操る”

i WEBCON と Unit 間データバスで接続し各種機器を自動制御できます。

- デジタル出力端子 ×24ch(I2C 通信)
- 0～10V 出力端子 ×1ch
- I2C アドレスの変更で最大８台まで増設出来ます。
- I2C を最大約 30m 延長できる端子を所持

i WEBCON と離れた場所に設置できます。

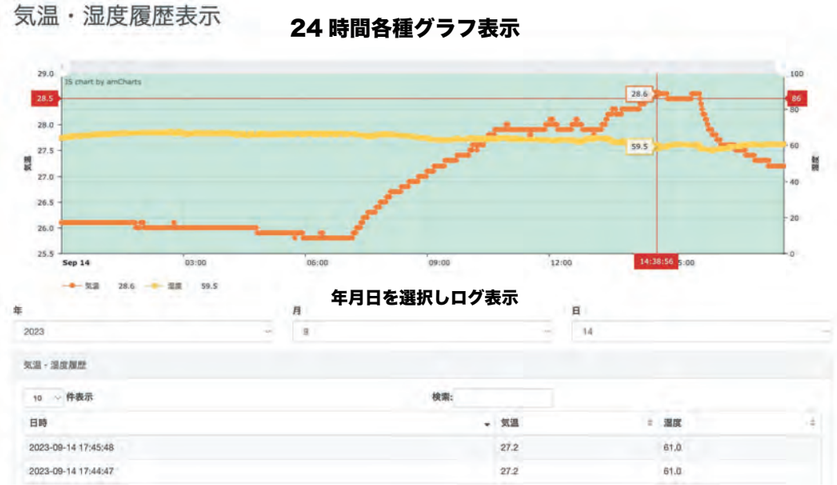
計測・監視・制御状態：ダッシュボード（目的に応じて GUI は換わります）

24 時間タイマー制御

15 分間隔の設定に対応

各種設定

24 時間各種グラフ表示



年月日を選択しログ表示